

羽生市議会議員 ゼロからの挑戦！～第2章～の始まり

# 中島なおき

無所属 39歳



## 動かせ羽生！

政策提言  
重視宣言

笑顔で過ごせる街づくり



志木市議会議員選挙にて  
高校の後輩の応援



衆議院会館にて  
勉強会に参加しました。



(仮称)  
藤沢徳洲会病院  
新築工事

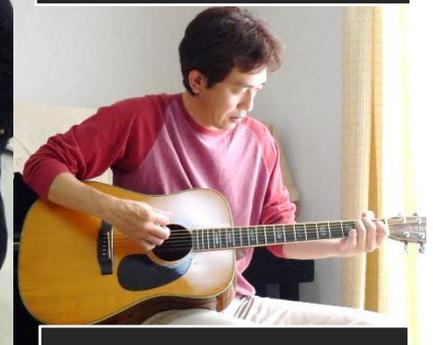
JR辻堂駅前再開発を視察



行田浄水場中央管理室  
危機管理体制を視察



若手政治家養成塾勉強会in羽生  
キャラクターを活かしたまちづくりについて



趣味の時間も大切に！

「ゼロからの挑戦日記。」ほとんど毎日更新中！

中島なおき

検索

選挙のときだけ街中に現れ、そのほかはいったいどこで何をしているかわからない…。そんな地方議会議員の印象を払拭すべく、日々の活動を休まず綴る市議会議員奮闘記！議員活動、政治活動、議会報告、私的主張、視察報告、行事参加の様子、市政、議会裏話など紙面だけでは伝えられない情報満載です！携帯電話からもアクセスできます。

# ～平成24年度 6月議会が終了しました！～

平成24年度羽生市一般会計補正予算、歳入歳出938万円(財源は大震災影響を受けた失業者に対する県の緊急雇用創出基金補助金)、羽生市火災予防条例の一部を改正する条例、羽生市民交通傷害保険条例を廃止する条例、加須市・羽生市水防事務組合同規約変更についてなど6議案が上程され、賛成全員でそれぞれ可決されました。教職員組合からの請願2件(「ゆきとどいた教育の前進」をもとめる請願・「教育無償化」をもとめる請願)は賛成少数で不採択、「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書は賛成多数で可決されました。

## 中島が見る市政—押し情報

### ①「道の駅はにゅう」の指定管理者について

平成19年8月にオープンした「道の駅はにゅう」。5年の指定管理期間が終了しますが、過去の実績を踏まえ、これまでと同様に株式会社ケンゾーが指定管理者として運営します。



### ②防災行政無線の自動応答電話サービスが始まります。

7月1日より防災行政無線で放送した内容を、電話(固定・携帯)で確認することができるサービスを開始します。〈☎048(562)6111〉直後は回線がこみあうことが予想されます。メール配信サービスの方がより確実です！



### ③羽生市体育館耐震工事をを行います。

大規模工事に伴い、メインアリーナ、剣道場、柔道場、卓球場、トレーニング室、会議室が9月から順次ご利用できなくなります。工事日程は市HPまたは体育館にお問い合わせください。



## 6月議会 中島なおき20回目の一般質問

中島なおき 発言録

検索

### 【水道水の危機管理体制について】

Q. 羽生市の水道水は行田浄水場からの県水7に対し、羽生市の自己水(地下水)3を混ぜて市民に供給されている。先般の行田浄水場原水から化学物質が検出された際、羽生市は円滑、的確に対応することが出来たのか？今回の騒動では、県水から人体に有害とされる化学物質が検出されたが、これが羽生市の自己水から有害物質が検出された場合、あるいは水質汚染や災害などにより行田浄水場からの給水が止まった場合の羽生市水道水の危機管理体制はどのようになっているのか？基礎自治体として、有事に対して、迅速な対応、迅速な情報発信ができるか否かによって住民生活は一変してしまう。5月18日からの騒動は市民に安心、安全をもたらさなければならぬ羽生市行政の情報発信体制の脆弱さが浮き彫りになったとともに、危機意識が欠落していたものと私は理解している。なぜ、羽生市行政は市民に向けて迅速な情報発信を行う事が出来なかったのか？他の自治体、具体的には本庄市と比較し12時間以上も情報発信に遅れをとる事になってしまったのか？



A. 羽生市浄水場の休日夜間は、運転管理を業者委託しているが、初動体制は円滑、的確であったと考えている。しかし、県企業局と行田浄水場との迅速な情報伝達が出来なかった。今後、情報伝達の在り方の検証と連絡体制の再構築が図れるよう他の受水団体を含めた協議の場を設けることを県企業局、行田浄水場に要請したい。羽生市の自己水が供給できなくなった場合は、行田浄水場から送水の増加を要請することになる。送水が止まった際には市の備蓄水により、2、3日は通常給水が出来る。市民への情報伝達が本庄市と比較し遅くなった理由は、羽生市で送水している水は安心であることから、送水が停止しても直ちに断水にはならないこと、また夜間であることから、市民に過度の不安を与えないことに配慮し、翌日対応とした。しかしながら、今回の事案を十分に検証して市民への危機対応について迅速に対応していきたい。



# ～11月、現在地の無償貸借期限を迎えます。～

羽生市は、市民の安心を守るため、病院に対して市内での診療継続を強く働きかけています。新病院建設支援基金約2億円を積み立てるといった具体的な支援策を講じていますが、残念ながら、現在のところ新病院の建設場所について合意に至っておりません。(市議会では市内存続に向けての意見書提出済)



そんな中、本年11月、現在地が30年の無償貸借期限を迎えることとなります。羽生総合病院からは「5年間の無償契約(無償貸借契約)」の希望が羽生市に届けられています。私は、羽生市が貸借延長契約を締結することは当然のことと考えますが、市は現在、どのようなかたちで貸借契約を締結すべきか慎重に協議を行っています。

## ～ ご存知ですか？「住所地特例」～

社会保険制度において、被保険者が住所地以外の市区町村に所在する介護保険施設等に入所等をした場合、住所を移す前の市区町村が引き続き保険者となる「住所地特例」という制度があります。これは施設等を多く抱える市区町村の負担が過大にならないようにするための措置であり、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療制度等に設けられています。介護保険法第13条では「住所地特例」について明文化しており、高齢者福祉の現場では大変良く知られている制度です。対象施設は下記の通りです。



- ・特別養護老人ホーム ・老人保健施設 ・軽費老人ホーム
- ・養護老人ホーム ・介護療養型医療施設
- ・サービス付き高齢者向け住宅
- ・有料老人ホーム

こういった理由から…



市外の方が羽生市の高齢者福祉施設等を利用するため、施設に住民票を移しても、原則として羽生市の財政的負担になるようなことはありません。

## ～市議会の会議録検索がリニューアルされました！～

レポート配布等で市内をまわると、「市長が〇〇なんだって?」「〇〇議員が〇〇と言ってるんだってね。」といったようなお話を伺うことが非常に多くあります。どれも噂話の類でその話を聞くと吹き出してしまふようなこと、根も葉もない内容であることも少なくありません。つまりらない噂話の喧伝は一部週刊誌とワイドショーにお任せするとして、噂話を信じる前にぜひとも市議会の会議録をご覧ください。

言うまでもなく、本会議場での発言は公式発言です。その全ては会議録に残されます。私が議員となり5年余の間で会議録から削除された発言は、発言者本人から発言取り消しの申し出があった1回だけです。理由もなく、勝手に、会議録から発言が削除されることは絶対にありません。

それくらい議場での発言と会議録の存在は重いものであるという事をご理解ください。

会議録は羽生市議会HPに掲載されるとともに、議会事務局、図書館、公民館に置いてあります。



# 平成23年度 政務調査費の使途を全て公開します！

使途 (平成23年4月分)	金額
印刷機インク	¥8,035
活動レポート用紙	¥4,580
	<b>¥12,615</b>

使途 (平成23年5月～平成24年3月)	金額
研修会・勉強会交通費	¥18,427
研修会・勉強会参加費	¥13,180
書籍 (8冊)	¥11,991
月間財務定期購読 1年間	¥23,160
印刷機インク・マスター	¥31,920
活動レポート用紙	¥13,702
PCデザインソフト	¥4,701
活動レポート配布燃料代	¥6,865
郵送代	¥7,280
事務所電話設置基本料 (10か月分)	¥1,000
	<b>¥132,226</b>

羽生市議会議員には、年額14万4,000円(月額1万2,000円)の政務調査費が所属会派の人数に応じて会派に支給されます。私、中島は会派には属していないため、羽生市議会の規約に則り、個人の裁量で有意義に使わせていただいております。

平成23年4月に4年の任期が満了したことに伴い、平成23年4月分とそれ以降分を分けて掲載をしました。

紙面の都合で左記のようにまとめておりますが、詳細は拙ブログ「ゼロからの挑戦日記。」をご確認下さい。

羽生市議会事務局にご連絡いただければ全ての領収書の写しをご覧いただくことが出来ます。



## 中島なおきの 生きざま

Naoki Nakajima's Profile

- 昭和47年11月生まれ
- 184cm 75キロくらい A型
- 趣味: 読書 釣り 家庭菜園 写真撮影
- 家族: 保育士の妻 長女 次女
- 特技: ギター弾き語り バasketボール ハンドボール
- 第2期若手政治家養成塾副代表 青年地方議員の会会員
- NPO 法人地方議会制度研究センター副代表理事兼研究員

埼玉栄高校普通科、日本福祉教育専門学校社会教育学科 日本大学法学部政治経済学科卒業 神奈川県内の児童福祉施設勤務を経て、鴻巣市社会福祉協議会の職員となる 専修大学で行われた千代田政治経済研究会参加 同世代の地方議会議員との出会いにより自らも政治の世界に飛び込むことを決意し第1期若手政治家養成塾入塾 平成18年12月鴻巣市社会福祉協議会を覚悟と決意の退職 平成19年4月羽生市議会議員一般選挙にて1,473票を賜り初当選 平成23年羽生市議会議員一般選挙に2度目の立候補 現職無所属候補の全員が前回よりも票を落とす中、2,131票を賜り再選を果たす 平成24年7月NPO法人地方議会制度研究センター発足に伴い副代表理事に就任

※日頃の積極的な活動が新聞、テレビ、雑誌等に大きく取り上げられています。以下紹介

【新聞】: 朝日新聞連載「ロストジェネレーション@選挙」【テレビ】: フジ「スタ☆メン」、TBS「総力報道・THE NEWS」【掲載書籍】「ロストジェネレーションの逆襲」朝日新書 「アクセス2008高等学校現代社会」 帝国書院【執筆】公職研 月刊『地方自治職員研修』2010年11月号～議会は変わる～

## ご意見・ご感想大募集

みなさんの声を直接市政に反映させたいと考えております。苦情や批判、要望だけではなく建設的なご意見、ご提案をお聞かせください。



【事務所】〒348-0071 羽生市南羽生 4-17-2 ☎ 578-8612 Fax 562-4231

✉: japanist0422@live.jp (匿名の連絡には対応できません。)

このレポートは、他人に委ねる事無く、毎回中島本人が直接皆様にお届けしています。